

庄内町 DX 推進計画（案）に関する意見募集の結果について

令和 6 年 3 月 27 日
庄内町企画情報課

- 1 意見募集期間 令和 6 年 3 月 1 日（金）から 3 月 22 日（金）まで
- 2 意見提出人数 1 人
- 3 意見提出件数 1 件
- 4 提出意見と意見に対する考え方

番号	意見	意見に対する考え方
1	LINE を使った災害時の避難所チェックイン機能は、具体的に一つの町内会をモデルとして試行し、次にまちづくりセンター単位で取組み、利便性向上の拡大に努めてはいかがでしょうか。	災害時の避難所運営につきましては、ご意見の内容を含め、令和 6 年度に町の職員で組織するプロジェクトチームを立上げ、検討を進めていきます。
2	マイナンバーカードの普及・利用の推進にあたり、まずは、職員の皆様、議員の皆様が申請 100%となるよう、しっかり利便性を認識して下さい。現行の健康保険証は 12 月に廃止され、マイナンバーカードと一体化したマイナ保険証に移行される見通しです。マイナ保険証には、一人一人の健康診断の結果や病院での受診情報、薬剤の処方歴といったデータが蓄積されます。また、災害時の避難で処方薬を置き忘れたとしても、マイナ保険証を確認することで、被災地で適切な薬を改めて処方できるようになります。	町の職員や議員の方々の申請率 100%に向けて取り組んでいきます。 また、「マイナンバーカードの健康保険証利用」についての情報提供や登録支援を行っていきたく考えています。 さらに、クラウド型被災者支援システムを導入しマイナンバーカードを利用した避難所の入退受付を行うなど、利便性の向上に取り組んでいきます。
3	来庁が必要な手続きでも「書かないワンストップ窓口」の実現として、非効率を解消するための総合窓口、「庄内町コンシェルジュ」新設やデジタル機器を使った手続きの御案内をお願いします。	ご意見のとおり、総合窓口をはじめとする「書かないワンストップ窓口」の実現に向け取り組んでいます。
4	公共施設予約のオンライン化とキャッシュレス決済の導入を拡大し、若い人から高齢者まで、いろんな団体が施設を利用して	利用状況がわかるカレンダー化を含めて、公共施設のオンライン予約の拡大に向け取り組んでいます。また、キャッシュレス決済はオン

	<p>もらうため、常に利用状況がわかるようカレンダー化して下さい。</p>	<p>ライン予約が進んだ公共施設と調整しながら実現に向けて取り組んでいきます。</p>
5	<p>全体最適化を図るのであれば、第三セクターに委託している「ふるさと応援寄附金」業務を商工観光課ふるさと納税係に戻すべきと考えます。令和6年度一般会計予算は寄附金低調のため、5千万円減の6億円です。クラウドサービスを利用した「ふるさと納税」は、寄付する自治体だけではなく寄付金の使い道も自由に選択できます。教育や子育て、まちづくり、産業振興や災害復興支援など、様々な寄付の使用目的が選べます。少子高齢化に伴い、このさきの地方交付税は減少していきます。庄内町にとって大事な収入です。しっかり、担当職員が責任をもって把握し、庄内町にとって全体最適化になるようお願いいたします。財務会計、セキュリティ対策、内部監査、透明性をもってあたって下さるようお願いいたします。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 庄内町 DX 推進計画に記載する全体最適化は、ご意見を含めた課題等について、システムをはじめとするデジタル技術を通して解決していくものであります。 最適化に向けて取り組んでいきます。</p>
6	<p>社会福祉協議会を通しての、生活支援者への援助、庄内支庁福祉係が担当になります。ガバメントクラウドへ令和7年度末まで移行し、システム運用と業務の簡素化を図るとのことですが、デリケートな問題ですのでくれぐれも、支援者に寄り添った配慮をお願いします。</p>	<p>ガバメントクラウドの移行期限である令和7年度末まで、ご意見の内容を含め取り組んでいます。</p>
7	<p>特別支援学級、障がい者福祉、介護施設等に入居されている利用者、みんなが安心して暮らせるような自治体業務のあり方をお願いします。</p>	<p>「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」に向けて、ご意見の内容を実現できるよう取り組んでいきます。</p>
8	<p>町内会、まちづくりセンター、庄内町がしっかり連携を組み、一人ひとりに寄り添った情報発信をお願いします。子供たちの笑顔、活躍が地域の元気の源です。みんなで応援したいです。</p>	<p>人に寄り添った情報発信に努めていきます。また、関係団体と連携しながら地域の活性化に向け取り組んでいきます。</p>